



グローバル人材育成教育学会

THE JAPAN ASSOCIATION FOR GLOBAL COMPETENCY EDUCATION

URL <https://www.j-agce.org>

発行人 アーナンダ クマーラ

2025年4月20日発行

ニューズレター 第50号

2025年度を迎えて、最初のニューズレターとなります。

今回は、

- (1) 会長挨拶
- (2) 理事会報告
- (3) 編集委員会報告
- (4) 全国大会開催の案内
- (5) 専門部会報告
- (6) 各支部からの報告
- (7) 年会費納入のお願い

についてお知らせいたします。

(1) 【会長挨拶】

「人生を祝う」文化から見えてきた、
人材育成の新たな視点

アーナンダ クマーラ

(スリランカ初の日系の大学・LNBTI 学長)

私は約40年ぶりに日本から母国スリランカに戻り、生活者としての日々を送っています。スリランカ出身者でありながら、かつては外から見ていたスリランカを、今は内側から体感し、日本との違いをあらためて強く感じています。

ちょうど今は、太陽の移動に基づく「新年」の時期。国全体が数日間、家族や地域との絆を深め、

“人生を祝う”ような時間に包まれます。爆竹の音が鳴り響き、人々は伝統衣装をまとう。

この新年のユニークさは、単なる休日の喜びにとどまりません。たとえば、「旧年最後の料理を煮る時間」「新年最初に火を使う時間」「初めて食事を口にしている時間」「親族に贈り物を手渡す時間」な

ど、あらゆる行動に“占星術に基づいた時刻”が指定され、そのタイミングになると国中の人々が一斉に同じ行動を取るのです。

着る衣服の色までその年の“吉色”が示され、人々はそれに従って服を選び、国全体が同じ色合いに染まる光景は、まさにこの国の「集团的調和」と「精神的統一」の象徴といえるでしょう。これは、個の尊重と同時に、共同体として生きる美学のようでもあります。しかしながら、なぜそのような美学は国家開発に十分に反映されなく、数年前に経済状況が破綻する結果にまでつながったのでしょうか。

一方、日本社会は「効率性」「成果」「スピード」を重視する価値観に支えられてきました。私自身もその考えに強い関心をもって行動してきました。その価値観が経済発展の源であったことは確かですが、時に若い世代に精神的な重圧を与え、働くことの意味を見失わせる側面も見受けられます。だからこそ私は今、「私生活や家族との時間を大切にしている文化」の中で、将来日本で活躍する若者を育てるという教育的実験に取り組んでいます。異文化の中で生活することで得られる視野の広がりや、価値観の相対化こそ、グローバル人材にとって必要な力だと感じるからです。

私たちグローバル人材育成教育学会も、語学や知識の習得だけでなく、多様な文化や「非効率」に見える価値の中にある意味を学ぶ必要があるのではないのでしょうか。国や文化にはそれぞれの論理と背景があり、それらを理解し受け入れる力こそ、これからの時代に必要な人材の資質だと考えてい

ます。

これからも私の現地での観察や実践を学会の中で共有しながら、これからの人材育成の方向を探っていければと願っています。

(2)【理事会報告】

理事会では、原則として毎月1回、メールによる審議を行っています。

2025年2月度定例理事会

議案1 新規入会(希望者なし)について承認されました。

議案2 退会について承認されました。

2025年3月度定例理事会

議案1 選挙スケジュールについて承認されました。

議案2 新規入会について承認されました。

議案3 退会について承認されました。

議案4 近藤フェロー助成金旅費補助ルール(案)、申請書、助成金振込の流れについて承認されました。

(3)【編集委員会報告】

学会誌第12巻第2号が発行されました。是非ご覧ください。査読等、お引き受けくださった方々に心より感謝申し上げます。また、編集委員会では、2024年度より直近3年間の投稿採択率の平均を公表することといたしました。査読付きの投稿である研究論文、研究ノート、実践報告につきましては、学会誌第12巻第2号を含む直近3年間の採択率平均は41%になっています。

(4)【全国大会開催の案内】

第13回全国大会開催のお知らせ

開催日：2025年12月13日(土)・14日(日)

会場：戸板女子短期大学 三田キャンパス

※詳細は決まり次第お知らせいたします。

(5)【専門部会報告】

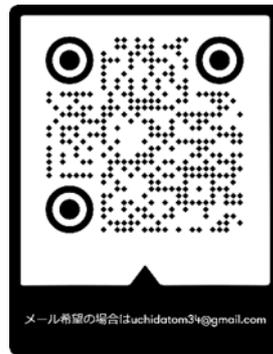
■ 異文化対応力育成教育研究専門部会

2025年2月8日(土)第12回全国大会(中村学園大学・中村学園短期大学部)にて、ワークショップ「海外経験成果の可視化—異文化対応力測定尺度(2019年度版)の利用」を開催しました。

異文化対応力測定尺度(2019年度版)のご利用・ご質問は佐々木(yukisasaki@nakamura-u.ac.jp)宛にご連絡ください。

■ 言語部会の動向と会員募集について

昨年度立ち上げた言語部会は、大六野理事長、クマラ会長、小野名誉会長他、現在14名(計17名)となっております。引き続き、部会員を募集しております。①言語教育実践研究会、及び②基底能力研究会を設置しておりますが、ご専門の分野・領域に関わらず言語部会の活動にご興味・ご関心のある方は右記QRコードまたはメールにてお申込みください。全国大会等で催してほしい企画やテーマもお寄せください。心よりお待ちしております。会員の方はどなたでも入会できますのでよろしくお願いいたします。



文責 内田富男(言語部会部会会長)

(6)【各支部からの報告】

■ 北海道支部

2025年4月より、北海道支部の支部長が、福沢康弘先生に交代いたします。

■ 中部・関西支部大会実施報告

2024年度 中部・関西 合同支部大会(第8回 中部支部大会/第9回 関西支部大会)(大会テーマ「日本におけるグローバル人材育成の現状と課題—ローカルの視点を踏まえて—」)が、2025年3月20日(祝)に、近畿大学生物理工学部(和歌山キャンパス)にて開催されました。

はじめに、開会行事および2024年度学会論文賞表彰式を挙行了しました。学会賞受賞論文は「〈実践報告〉外国人留学生・日本人学生・社会人協働PBL型インターンシップの効果(変革マインドセットの醸成に着目して)」、受賞者は、泉谷 道子(愛媛大学国際連携推進機構, 創価大学経営学部)、小林 修(愛媛大学国際連携推進機構)、伊月 知子(愛媛大学国際連携推進機構)の各氏です。

シンポジウム「地域のこれからとグローバル人材育成—和歌山における企業の挑戦から—」では、シンポジストとして岡澤 利彦(和歌山県企画部国際担当参事)、木村 明人(株式会社インテリックス代表取締役社長)、野村 壮吾(協和プレス工業株式会社代表取締役社長)、コメンテーターとして加志 勉(和歌山YMCA国際福祉専門学校 校長)の各氏をお招きし、服部 圭子常任理事(近畿大学)がコーディネータを務めて、和歌山における外国人材の活用や共生へ向けての現状および課題について活発な議論が展開されました。

田中 満公子(前大阪教育大学教職大学院特任教授/人材育成コンサルタント)、古賀 真也(池田市立五月丘小学校 首席)両氏によるワークショップ1「グローバル教師に求められる資質・能力」では、日高 俊夫 関西支部長(武庫川女子大学) コーディネートのもと、参加者が自分のことを理解するプロセスを通してグローバル人材育成に繋げるという活動がなされました。プログラムの構成上、短い時間でまとめていただくこととなりましたが、大変好評で有意義な時間となりました。

研究発表では、一般発表・学生発表ともコメントや質問が活発に交わされ、建設的なディスカッションが行われました。

さらに、山下 弥生 氏(裏千家インターナショナルアソシエーション幹事/京都芸術大学非常勤講師)によるワークショップ2「お茶とコミュニケーション」では、実際に呈茶を体験しつつ、お茶を通じた異文化理解という視点で大変興味深いお話をうかがいました。

その後の情報交換会や懇親会にも多数の参加があり、大盛況のうちに終了しました。ご発表・ご参加いただいた皆様、準備に奔走していただいた方々に心より感謝申し上げます。

(7)【年会費納入のお願い】

2025年度の年会費を6月末までに納入いただけますようお願い申し上げます。また、学会誌に投稿の際には、年会費の納入が必要です。

【会費】

正会員 5,000円
学生会員 1,000円
大学会員 10,000円
賛助会員 30,000円

◆お振込での支払

ゆうちょ銀行(振替口座)
口座記号番号: 01700-0-126765
加入者名: グローバル人材育成教育学会

*ゆうちょ銀行以外の金融機関から上記口座に振り込まれる場合は、以下のようにご指定ください。

銀行名: ゆうちょ銀行(9900)
店名: 一七九(イチナナキュウ)店
店番: 179
預金種目: 当座預金
口座番号: 0126765

◎正会員・学生会員の振込の際は、振込人名に必ず「会員番号と氏名」をご入力ください。

なお、振込人名と会員氏名が異なる場合（例：所属大学名、法人名、通称氏名等の場合）は、大変お手数ですが、学会ホームページの「問い合わせ」より振込月日、会員番号、氏名をお知らせくださいますようお願い申し上げます。

◎大学会員・賛助会員の振込の際は、振込人名に必ず「会員番号と大学名/法人名」をご入力ください。

<お問い合わせ>

グローバル人材育成教育学会事務局

https://j-agce.org/contact_form/

【文責】アーナンダ クマーラ

【編集】天木 勇樹